9月2日 金曜日 1日発行
昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3206号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第637号新聞登記・第2類新聞紙類・内政内警台字第0136号)

天気予報
あすの暦 9月2日・金 7月16日

日米共同声明を発表
三日間の重光・ダレス会談終る
両国関係を伸張
アジア安定へ 日本の役割を確認

【ワシントン三十一日発=共同】ワシントンの日米会談最終日は三十一日午後三時十五分(日本時間一日午前四時十五分)から二時間にわたって行われ同午後五時十五分(日本時間一日午前六時十五分)三日間にわたる会談の幕をとじた。会談終了後ダレス米国務長官と重光外相から要旨つぎのような日米共同声明を発表した。

共同声明(要旨)

◇会談では最近の国際情勢、現在国連で行われている軍縮問題の討議、ジュネーヴで開かれる四国外相会議について意見の交換が行われ、極東情勢も検討された。ダレス長官は全般的平和を求めながらも断固として自由を支持するという米国の政策を説明した。ダレス長官と重光外相とは、大規模な戦争が今すぐ起る危険性は多分遠のいたが、国際情勢とくに極東にはまだ不安定な要素が依然存在すること、改善されつつある平和の見通しを維持するためには今後とも自由世界の団結を継続する必要のある点で意見が一致した。

◇重光外相は日本の外交政策の土台として米国および自由世界との協力関係を維持するとの日本の決意を表明した。ダレス長官と重光外相はこの点に関し、極東の安定と平和の確保のためには日米両国のより緊密な協力、関係が望ましいことを認め、日米両国に関係ある各種の問題について両国政府が今後とも協議を続けるべきであるという点で意見の一致を見た。

◇また日本の安全保障に関する基本的な諸問題が討議され、重光外相は日本の防衛力が今やかなりの水準に達したことを示唆するとともに、日本の能力の範囲内で防衛力漸増方針を続けるとの固い決意を表明した。同外相は防衛庁当局が作成した防衛増強計画を説明した。これらの計画が東京で検討さるべきこと、戦略上の必要にかんがみ随時改訂さるべきことについても意見の一致をみた。

◇在日米軍維持のための日米の財政的寄与の問題については今後数年間にわたり漸進的に削減する方式を作ることが望ましいということで意見が一致した。

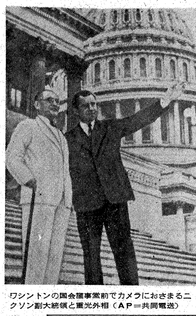
◇重光外相は日本は諸外国とくにアジア諸国との貿易を拡張せねばならないことを強調した。

◇ダレス長官はアジア自由諸国の経済開発のための米国の援助構想について説明した。これら諸国が経済的地位と生活水準の向上をめざす日本の努力を助けることになろうという点が確認された。

重光外相は戦犯の早期釈放を要求したが、ダレス長官はこれを緊急な問題として検討すると述べた。占領期間中の対日経済援助の処理については大きな障害がなく、東京で交渉し早期に妥結するよう意見が一致した。

◇今回の会談を通じて両国代表は日本がアジアの安定と平和に貢献するためアジア諸国との協力のもとに積極的な役割を演じなければならないことを認めた。また両国代表は日本が国内の政局安定の確立、経済の再建および貿易能力強化に努力している事実に鑑み、日米間の協力を維持する確たる基礎があるという点で意見一致した。

◇重光外相とダレス長官は両国が互いに協力しまた他の諸国との協力のもとに世界の平和と自由を強化する任務を遂行できるよう両国間の関係を伸張しようとの両国政府の決意をあらためて確認した。



ワシントンの国会議事堂前でカメラにおさまるニクソン副大統領と重光外相(AP=共同電送)

自衛隊の海外派遣
将来実現を期待
米国務省当局言明

【ワシントン三十一日発UP=共同】米国務省当局者は三十一日、日米共同声明の補足説明を記者団に行い、その中で日本の自衛隊の海外派遣問題について次のように言明した。

われわれは将来日本がアジアおよび太平洋地域の安全保障を維持するため海外に軍隊を送ることができるようになることを期待している。これは『日本はできるだけ早く日本本土防衛の主たる責任を負うべきであり、また日本は国際平和と西太平洋における安全保障確保のため貢献することができる』との重光外相とダレス長官との間の取決めの論理的結果である。

外相、副大統領と会談

【ワシントン三十一日発=共同】重光外相、河野農相、岸民主党幹事長らは三十一日午後零時半(日本時間一日午前一時半)米議事堂にニクソン副大統領を訪問、二階の一室で米首脳らを交えて一時から昼食をともにし、経済問題を中心に意見を交換した。

米、撤兵に難色示す
会談成果には満足
重光外相記者会見

【ワシントン三十一日発UP=共同】重光外相は三十一日記者団と会見『今回のワシントン訪問の目的が達成されたことを非常に満足に思っている』と語った。談話要旨つぎのとおり。

一、日本は自由世界の東アジア防衛線において中心的な地歩を占めている。われわれは日本こそ東アジアにおける平和をささえる主柱であるという事実を完全に認識すべきである。

一、しかし日本の防衛費は日本国民の肩に重くのしかかっている。だから日本の防衛負担能力は日本経済力と均衡のとれたものでなければならない。

一、四年前調印された日米安保条約はいまでは時代おくれになっており、日本は現在の一方的関係を相互主義の原則にもとづくものに代えたいと希望している。

一、私は対中共禁輸措置が緩和され合理化されることを希望する。

一、日本が国連から閉め出されていることは屈辱的な事実であるので、国連に早く加盟できるようになることを希望する。

一、米駐留軍がいつ日本から撤退するかについては決定の段階に達しなかったが、この問題は将来検討されることになろう。

一、私は防衛計画において日本により大きな役割を与えることを強調し、ダレス国務長官に一九五八年までに約二十万の日本軍を作り、このうち地上軍を十八万三千とする案を説明した。そして米国がそれまでに空軍と海軍だけを残して日本から地上軍を撤退させることができるかどうかについて質問した。これにたいし米国側は日本が私の提示した案より大きな軍隊を持つことができるとの考え方から米駐留軍の日本撤退案に同意することをためらった。私の案には一九六〇年までに日本が千三百機の空軍を持ち、そうなったら米空軍は日本から撤退するという計画も含まれている。

今夜ニューヨークへ

【ワシントン三十一日発AP=共同】日米会談を終えた重光外相は一日午前九時(日本時間同午後十時)ニューヨークに向う。ニューヨークではウォリドーフ・アストリア・ホテルで開かれる極東問題審議会、日米協会、ニューヨーク日本人商業会議所共催の昼食会で演説し、午後は国連本部にハマーショルド国連事務総長を訪問する。

共同声明をこうみる

米一辺倒暴露 和田氏(左社)談

外交方針としては政府が自由党時代からとっていた対米関係を中心としたものであることに変りはない。問題は防衛計画を先の国会で説明する余裕がありながらこれを説明せず、まずアメリカに持って行ってその了解を求めるという態度である。これは自主性のない対米依存外交である。とくに重要なのは防衛力を漸増、米地上軍の撤退についてどういう約束をしたかということである。具体的な約束があるのか、ないのか、この点重光外相が帰国後強く追及したい。

基本線明確化 塚田氏(自由党)談

従来鳩山内閣の外交基調が不明りょうで、二元外交などいわれていたが、今回の共同声明によりその基本線が自由党と同じであることを承知し安心した。鳩山内閣は今後この線を崩さぬよう努力してほしい。

大きな成功 清瀬氏(民主党)談

こんどの日米会談で安保条約が双務的防衛条約に発展する見通しと米駐留軍の撤退や戦犯の釈放、経済援助などについての見通しが得られたことは大きな成功であった。安保条約は暫定的にもせよ防衛責任を米国に委ねたもので、われわれはこれを遺憾とし日本の安全は日本人自身が直接責任を負いたいと痛切に希望していた。安保条約改正のためには長期の折衝、法律技術の研究が必要だが、ともかく今回口火を切ったことは次の歴史へ一歩踏みだしたものといえよう。

重大な失敗 浅沼氏(右社)談

日米共同声明で明らかのように、鳩山内閣のてこ入れのためのお土産は皆無である。戦犯の釈放、戦争中の債務の減額、東南アジア開発援助などは具体的な成果がなく小笠原諸島、沖縄の返還問題については一言も触れていないのみならず日本安保条約、行政協定の改訂と米軍の撤退については、かえって今までよりも一層軍備の増強を約束し国民に告げない防衛計画を提出しこれに対して拘束を受けることになった。ことに日米安保条約の改訂については双務的防衛条約の方向をとることを約束したことは重大であり、新ロカルノ方式に移行する世界の大勢に逆行する。われわれは重光外相のソ連との国交調整に誠意なき実体を見とどけ、更に今回の重大な外交の失敗を追及し、この会談に岸幹事長、河野農相が加わって内閣の不統一をさらけ出した醜態を糾弾して鳩山内閣打倒に邁進する。



駝鳥につかれた美女

ロンドンのウインドミル劇場ではキャロル・ローガンの駝鳥の踊りが目下評判になっている。ローガンはやっと二十才になったばかりで、つけている羽根は本ものの駝鳥の羽根、それ以来駝鳥に病みつきになり、ベッドも駝鳥の羽根ブトンを使っている。【写真はキーストン特約】

粋人酔筆
乳房の文学
丸木砂土



『神は、乳房の白き峯の中に住み給う』とまで褒めたのは、ハイネの言葉だが、そのくらい西洋では女の乳房を崇拝する。日本でも終戦後の十年間、盛んに乳房を舞台の上で見せたものだが、どうも乳房の美しさなんてものは、あまり世の中で認めていないようだ。

どうしてだろう。帯のせいかとも思ったが、そうじゃない。これは日本の女の乳房が悪いんではなくて、長い胴のせいだと判った。西鶴の好色本に『胴合常の人よりは長く』とあるくらいに、昔は日本の女の胴が長いのを褒めて、浮世絵の女が出来上ったが、その長い胴のはるか上の方に乳房があるんでは、いかにも間のびがしている。西洋の女は、乳房のすぐ下から、胴がぐっとくびれて、すぐ腰の円い線になっているから、日本の女のように間のびた格好ではない。

従って、日本の文学にも、乳房の美しさを書いたものは、殆ど目につかない。明治時代にドクトル・ベルツは『日本では平たい乳房がよしとされている』といい、やっと島崎藤村の詩に

ひとめもはじよ、花かげに
なれの乳房のあらわるる

と歌われたくらいが関の山である。それが大正時代になって、初めて、これと思われる乳房文学が出た。志賀直哉の小説『暗夜行路』の末尾に、男が売春婦の重味のある乳房を柔かく握って、軽くゆすって『豊年だ、豊年だ』というところがある。最も文学的な乳房である。



『源氏物語』に、白い薄物の単衣をそんざいに着て『紅の腰ひき結べるきわまで、胸あらわに、鳳俗なるもてなしなり』とあるが、これなども乳房は大いに露出しているに違いないが、全く認められてない。

徳川時代になると、為永春水の『英対暖語』巻四に、青年がお祭の仮装をした女の衣裳を脱がせ、浴衣に着かえさせながら、汗をふいてやるところがある。

『きめ細かなせえか、汗は出ないようだ。そして姉さんよりは色も白し、すこし肥っているから、なおのこと可愛らしい。どれ、乳をのんでやろうかね』

というと、娘はおほほと笑って、

『どういたしまして、わちきの乳は、まだこんなに胸にひっついてありますよ』

青年はこの娘の姉さんに恋をしている

『なになに、もみじさんよりも乳房が大きいようだ』

『それごらんなさいな。姉さんをお可愛がりの証拠は、そんなことまで知っておいでだよ。憎らしい』

姉と妹の乳房の大きさを比較して戯れる恋愛場面だが、乳房そのものは一向官能的でない。

森鴎外博士は、若い時に欧州に留学されたが、医学者でもあり文学者でもあったから、欧州の女の乳房が、どんなに性的に、かつ美しいものであることを、無論ご存知であったろう。先生に『女形』という一幕物がある。ある老人が、女形の俳優に惚れて、胸に手をさし込むと、乳房がないといって驚くのが幕切れだが、決して先生の名誉ある作品ではないが、これを聞いた時の先生の頭の中には、欧州時代に知った乳房のコムプレックスが、もやもやしていたに違いない。

春水の『梅暦』には男女お互いに乳房を弄ぶ場面もある。西鶴には乳房の描写はない。日本における乳房の文学は、為永春水のものと決めたい。

市況
商事株中心に上昇

大証券は積極買を手控えているが、一両日来の相場立直りをながめて商事株中心にマバラの買気が続いているので、月替りの市場は全般に穏健なジリ高歩調をたどっている。特定株は地合堅調から全般にわたってマバラの小口買が見られ、軒並一―三円方値り、雑株は大合同を材料に三井物産が六円方買われたのをはじめ、商社株が市場の買気を集めてほとんど軒並十円内外上進、その他重役陣刷新の東宝や日銀、藤田興など地場株中心に買気が続いて五円内外小高いもの多く全般は小幅ながら続進歩調をたどった。

▽高い株=日銀三十円、住商十五円、旧物産八円、フエルト、三井物、三洋電、旭化成六円、日本舗道、藤田興、日炭、日商、東宝五円

東京株式仲値

小西六	125
カボン	37
三井物	165
第一物	120
白木屋	—
高島屋	85
日活	69
松竹	205
東宝	1305
大映	194
日本粉	138
日清粉	163
日本ビ	178
朝日ビ	186
キリン	208
宝酒造	108
台糖	261
明糖	138
甜菜糖	143
野田醤	194
森永	288
明菓	190
日水産	89
昭和産	106
東洋糖	84
合同酒	132
三楽	108
大阪糖	183
王子紙	224
十条紙	240
本州紙	92
三菱紙	89

出光と販売契約 イラン石油

【テヘラン三十一日発ロイター=共同】イラン国有石油会社は三十一日、出光興産との間に石油販売契約を結んだと発表した。この契約によりイラン国有石油会社は今年九、十、十一、十二の四ヵ月間に出光に対し原油二十万トン、石油五万トンを売却することになる。この契約とは別に、来年から七年ないし十年間にわたり、毎年百万トンの原油をイラン側が販売する契約についての交渉も行われており、恐らくこの契約は一、二ヵ月中に調印されよう。

辞表を撤回 ペロン大統領

【ブエノスアイレス三十一日発AP=共同】アルゼンチンのペロン大統領は三十一日、一たん辞職する旨発表したが同夜辞表を撤回。

自由党三役、関西財界人と懇談

【大阪発】自由党の石井幹事長、大野総務会長、水田政調会長は二日朝空路来阪、午後一時半から新大阪ホテルで関西財界人との懇談会に出席する。この懇談会には財界側から杉大商会頭、関関経連会長、太田垣関経協会長、首野工業会会長らが出席、自由党主脳から保守合同を強く訴え、関西財界の協力を要請することになろう。

内外抄

日米会談が終ってダレス・重光共同声明発表さる。中味があるのないのが今後の政治ダネ。
◇
二十二名の戦犯釈放は全戦犯釈放の前奏曲。きょうの厄日がこの朗報で明るくなる。
◇
重光外相、各大新聞の国際電話にいちいち呼び出され、同じようなネタを出す。人気商売はツライ。
◇
南千島、歯舞、色丹の要求を最後的に持ち出した日本側。ソ連譲れ、日本頑張れ。
◇
畑を飛行場に、飛行場を畑にと強硬手段に出る政府と地元、砂川と静浜、所変れば品変る。

ないがい川柳 吉田柿司選



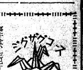
ドッカリと坐って黙す昼の風呂 港 瀬谷 稿美
新学期マンボ覚えた頭で来る 江東 釜谷 一輪
水不足プールの水がうらめしい 福島 佐々木政信
洗濯機誇れば隣りテレビ買い 市川 永松 紫朗
山小屋の壁のハートは矢がささり 北 窪 之助
エビガニもホタルも町は金になり 横浜 市野 三七
アルバムに貼れない写真ばかり撮り 板橋 阿 伊代

◇おことわり『女の社長さん』休載致します。

村上東京税関長タイ国視察へ 東京税関長村上一氏はタイ国の招きにより、タイおよび香港における税関行政視察のため六日バンコックに向け出発する。

通産辞令(一日)△通商局振興課長(在サンフランシスコ総領事館領事)中野秀雄△防衛庁出向、調達実施本部原価計算第一課長(企業局産業資金課長)若林茂信

ジグザグコース



銀行に追い銭

渺たる一外務員が、くすねもくすねたり、三億円に近い金をちょろまかした常盤相互銀行のサギ事件は、主犯片桐正雄のほかにも、陰の人物がワンサといるらしく、事件を追及中の警視庁捜査二課では金融業太田済を逮捕したのを皮切りに、事件に踊った有象無象を一掃する態勢を固めている。不労所得もいいところ、粒々辛苦してためた預金を、ヌレ手に粟とくすねる悪人輩はこれを機会に根こそぎやっつけてもらいたい。何故なら、前の日殖事件、保全経済会事件のときもそうだったが、事件に大なり小なり関係を持つ人(それは大てい庶民階級なのである)にとっては、日米会談などより差迫った問題であるからだ。

ところで、ぽっかり穴を明けた常盤相互銀行に二十九日、日銀は幹事銀行である日本相互銀行を通じて二億円の救済融資を行った。外務員の不正があって常盤相互銀行は資金のやり繰りがつかない。放って置いたらえらいことになるというわけである。たしかに見逃しにしてたら影響するところ甚大なものがあるかも知れないが、相互保障協定にしばられているにせよ、こうも簡単に救済融資に応じることはどんなもんだろうか。

この世の商売で銀行ほど金銭にやかましく、仕事が機械化されているところは少い。にもかかわらず、銀行というところからは片桐のような犯人をちょいちょい出しながら、長いこと気がつかないのはおかしい。数年前にも某大銀行の一支店長が三十億もの不正貸出しをやったことがある。事件は同行挙げてのもみ消し運動が奏効して、一部だけが表面化してコトが落着した。ついでながらそれをかぎつけて合法、非合法スレスレのところで"モミ消し代"を頂戴に及んだ奴がいるというサイド・ストーリーも生んだことがある。こんなふうに銀行内部のミスで大穴をあけたことを、日銀あたりが簡単に救済すると、同じようなケースが後を絶たないだろう。他人の金を扱う銀行のミスは、その銀行がぶっつぶれる直前まで責罪再建の努力を払わすべきだ。でもないと金の有難味はわからない。(茂)



【写真は片桐正雄】

青春無宿 (115)
大林清 作
下高原健二 画



ヨーロッパ夜行記（1）　ベルリン（上）

文字通り闇の女（東側）

交換レート利用で"ブル娼"の出現

最近では西側と"平和共存"



赤い海の孤島ベルリンにも美女はいるわよと"ミス・ベルリン・コンテスト"に群るドイツ娘【写真はEP特約】

乙女の全身に電気アイロン

アテネの街を揺すった猟奇事件

乳房・尻・足裏まで

見るも無残、火ぶくれの女中

五十ドル紛失から　夫婦で変態的な陶酔



警察署に連行されるベイジャス夫妻（キーストン特約）

…向にかけ、夫妻で変態的な陶酔に浸っていたという怖るべき事実を告白したのである。

パントジェーン巡査が悲鳴を聞いた日の昼ごろアンティゴンは自分の部屋のテーブルの上においた札入から、五十ドル紙幣が失くなっているのに気がついた。夫妻の部屋に出入りするのは、お気に入りの女中スナイドラでしかない。『お前が五十ドルを取ったろう』とヒステリー気味になったアンティゴンが折かんしているところへ、夫のジョージが入ってきて、こんどは二人がかりで責めた。夫妻は彼女をテーブルの上に素裸にして縛りつけた。成年とはいえすっかり大人になっている彼女が、苦しまぎれにのたうつ姿を見た二人は、異常な興奮と興味を覚えたらしい。ついに妻のアンティゴンが

のたうつ机上の裸体

丸二日水をかけての凶行

毎度のことで嬌声は飽きる程聞いていたからだ。しかし何となく気にかかっていたらしく、彼は署に帰ってからその話を雑談のうちに同僚に話していた。

翌々日の午後、市署のマクナド…

いうが、全身火傷で、しかも乳房からお尻、足の裏まで火ぶくれになっているんだぜ』『その娘の家は?』『ジョージ・ベイジャズの家に雇われている女中だといっている』『なに、ジョージ・ベイジャズ…あのナイト・クラブをやっているベイジャズだね。すぐ行くよ』

マクナドッチ警部は受話器を置くと早速とびだした。

病院に着いてみて、流石の警部も驚いた。見るも無残とはこのことで、美しかるべき乙女の、腕から足はもちろん顔まで火ぶくれになっているではないか。誰が見たって不自然なヤケドの跡がレキ然としていた。警部は、すぐさまナイトクラブへとんだ。だが緘口令が布かれているのか、他の使用人も『わかりません』の一点張りだが、とに角経営主のベイジャズ夫妻に関係のある事件であることだけは想像できた。警部はナイトクラブの風紀上の違反を取上げてベイジャズとその妻アンティゴンを署に連行し、改めて入院中のスナイドラ嬢の口から真相を聞きだし、更に使用人からの傍証を固めたうえ夫妻を訊問すると、遂に夫妻はスナイドラ嬢を電気アイロン責めの…

半死半生で解放

問題の金は夫のしわざ

スナイドラ嬢の半死半生の状態をみて、もともと殺すつもりでなかった夫妻は、あわてて三日目の朝部屋にあった電気アイロンを持出し、熱してきたアイロンを、ちょいちょいと肌にくっつけてはいびり始めた。こうなると、もう失くなった五十ドルの詮議など問題でなくなっていた。スナイドラ嬢が気を失うと水をぶっかけて息をふき返させ、丸二日間それを続けているうちに、被害者は全身それこそすみからすみまで火ぶくれになってしまっていた。

少女を解放し、近くの病院へかつぎ込んだ。その時スナイドラ嬢は夫妻に堅く口外しないことを誓わせられていたのである。

ところで問題の五十ドルだが、夫のジョージが妻に無断で抜いていたことが判明した。

珍習奇習　難行苦行

◇佛領ギニア◇

▽…一人前になるための儀式としての割礼は、ほとんど世界中の民族間に行われたことで、われわれ日本人の祖先もさかんに実施したものらしい。だから今日日本人には比較的包茎が少ないのだそうである。これに反し欧米人には割礼の風習がなかったので、包茎者が多いといわれる。ことわっておくが、これは文明とか文化の問題には関係のないことである。

▽…とにもかくにも、割礼ということは現在でもあちこちでさかんに行われている。だから割礼自体は、もはや珍しい風習とはいえなくなった。が、しかしである。仏領ギニア地方に住む神秘的なトマス族の割礼だけは、その物々しさの点でやはり珍習といえるだろう。

▽…さてそれでは、どんな具合にトマス族の割礼が物々しいかを説明せねばならぬが、なにぶん薄皮をちょん切ってひん剝くてな行事を、くわしく書くわけにはいかないのが残念だ。それにトマス族は、少女にまで割礼をほどこすのである。女の子の皮かむりでもないだろうから、これの割礼というのはどうするのか、いわくいいがたき物々しさと想像して戴くほかない。

▽…どうもあいまいな説明に終って恐縮ながら、あいまいならざるをえぬ事情を察して戴いて、トマス族の少年は家族と別れ、秘密の森の奥深くで魔法使いから切って貰うこと、少女は数人の祈禱師から切り開いて貰うこと、そしてそれらの割礼が大へんな苦痛をともなうこと、『痛い』などとけっしていってはならぬことと等をもって、この難行苦行的割礼式の状況を珍習奇習の列に加えておく。（作）

風流世界譚　（インド）

体温計をポケットに入れて炎天下を歩いたら水銀柱が一番上まで上りつめていたり、ブラ下げていた水筒が熱湯に変っていたりで、この国の暑さときたら全くウソのような話です。恋人同士のナイルとハンデーラが二ヵ月ぶりで逢引きし、積りに積った愛のハケ口を求めてシンネリ、コッテリとやっていましたが、なにしろ音に聞えた猛暑の最中なので、むしろ重労働とでもいいたい位の有様ですす。するうち、ナイルがある生理的欲求を覚えてきました

いくら相思相愛の間柄とはいえ、いやそれだからこそ、この厳粛な場面にはまことに困った仕儀となりましたが、如何せん、ついに我慢がならず、一発、怪しい音を出してしまいました。『おや、なにかしら、いまの音』ハンデーラが聞きとがめてこういうのに、ナイルは慌てて、『ナニ、部屋にある水筒のフタがはじかれた音だよ、なにしろ、普通だって熱湯になろうっていうのに、二人でこう熱を上げていれば、フタなんかはじき飛ばされちゃうさ』

東海毒婦伝　青とかげ（56）

野沢純　土端一美画

【あらすじ】◇江戸の豪商、尾張屋喜兵衛の後妻お直は、旦那の目をぬすんでひそかに、店の番頭島蔵と、不倫な愛欲に耽けるばかりか、歌舞伎役者まで引き入れて、情交を続けるという毒婦ぶりを発揮する。そのうちお直は身ごもったのを、番頭の胤だといいくるめ、悪計をめぐらして、帳場の金をくすねさせるが、それでも足らず。不逞浪士を語らって、隠謀の結果、ついに尾張屋へ押入らせ、軍資金調達の名目で、巨万の富を運び去らせる◇一味の中に覆面武士に化けたお直の甥で、料亭伊予松の道楽息子与次郎がいた。一夜かれは捕吏に追われて、二階の物干から逃げ込んだのが、仇な年増の独り住居。女の方では驚きもせず、蚊帳の裾から手拭を投げて『足を洗ってから入れ』という。

情炎卍（十一）

ともかくも言われる通り、物干台へ出て見ると、なるほど闇の一ところ、青磁色のかなり大きな金魚鉢が置かれてある。

『手拭いはそこにあるよ』

『済まねえ。いや、手拭いは持っている』

金魚鉢の水をすくって、黙って素直に足を洗った。

最前まで頬かぶりをしていた、こぼれ松葉の手拭いで、足をふくと、

『上らせてお貰い申すぜ』

尻っ端折りの裾をおろして、蚊帳の外へ座りながら、

『姐さん—ここはどの辺だね?』

と訊いてみた。

夢中で走り続けたので、ちょいと見当がつかないのだ。

『此処は富吉町の源兵衛店の路地うらだよ』

蚊帳の中で女は答えた。さすがに起き上って、座り直していた。清元師匠の延千賀である。が、顔を見ても与次郎は知らない。知らずにまぎれ込んだのだ。

『済まねえが、タバコを一服すわせてくんねえ』

枕元の朱羅宇（しゅらお）を見て、与次郎は小声で言った。

『勝手におすい—』

投げてよこした。

拾って手近の行燈を側へ引き寄せ、一服吸いつけ、ふかぷかと煙りを吐くと、ようやく気分が落ちついてきた。

『……』

思わず、ぐっとおし黙るのへ、

『お前さん、何処かで見かけたような男だと思ったら、伊予松の倅だね?』

『げっ……』

たしぬけに図星をさされて、とみはった。



『ここは姐さん一人かね? それとも、ほかにも誰かいるかね?』

用心深い訊き方をした。

『内弟子と、耳の遠い婆さんがいるきりだよ』

『内弟子—てえと、何かの師匠かね?』

それには答えず延千賀は、

『お前さん、何で追われているんだえ?』

有明行燈の灯かげに映る、男の顔をじっと見た。

『なァに、大した事じゃァねえ。鉄火場から出て来たところを、いきなり御用と来たまでよ』

『博奕ぐらいで、あの騒ぎかえ? そうじゃなかろう? もっとほかに、追われる仔細がありはしないかえ?』

『姐さん俺を知ってなさるのかい?』

『この間、尾張屋の一人娘を、手紙で向島までおびき出したのはお前さんだろう』

与次郎は、ますます瞠然。

『どうして知ってなさるんだ?』

延千賀は、にやりと笑って答えない。まことはあの夜、新門の親方が、駕籠でおりうをここまで送りつけて来た事を、何も知らない—知る由もない与次郎なのだ。

『何で追われているのか、正直にお話し』

知らないから、いちいち図星を指されて驚いていると、ちょうどその時、階下の表口にあたって、どんどんと戸を叩く音がした。

『町方の者だ—』

と言っている。与次郎、思わずギョッとした。それに向って、

『さァ正直言うか? 言わないかい? 言えばこの場はかくまってやる』

あすの運勢　＝九月二日＝　高山象山

▲一月生—物事旺盛なる気運に恵まれ利達栄昌あり社交に有利なり
▲二月生—物事に人余の利達栄昌あり商売取引円満なり移転旅行吉
▲三月生—周囲の動静に誘導され不覚をとることあり婦人は悩多し
▲四月生—物事初め少し苦労起るも後晴れて順調に通じ利達ある也
▲五月生—物に淋しさを感じ易く気迷い起り失敗を招く堅心たれよ
▲六月生—予想を裏切り失態を生じ損失あり配下や目下に心配あり
▲七月生—物に躊躇せず事に迷わず素志の貫徹に努力すれば栄達す
▲八月生—新規の政策を樹立して面目を改め進むに有利なり移転吉
▲九月生—運気沈滞して進まず不満あり不平あり失望損失を招易し
▲十月生—明るい希望と軽快な努力とは一倍功を奏す進んで利あり
▲十一月生—物事愉快に順調なる発展あり稼業商売発展あり旅行吉
▲十二月生—心散漫して多志多情に流れ節度を失して失敗を招く也

ラジオ・プログラム

2日（金）

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
朝	7・45 BK朝の訪問 渋谷天外 8・05 ウイーン演奏団 室内楽 メンデルスゾーン作 八重奏曲変ホ長調作品20 8・30 日本脱出❷ 岡本太郎 10・15 わが家のリズム 11・15 広津和郎作 指 ❷	7・30 経済政策論 気賀健三 8・30 シベリウス❺交響詩タピオラほか ロイヤルフイルハーモニー管弦楽団 9・15 奈保子さんの夏休み 10・15 私の観察旅行 11・15 マイクの旅・二学期の予告	8・35 花ふたたび 永井百合子ほか 8・45 宮崎章とフアイヴサンズ 9・05 チヤツカリ夫人 夫とお勝手の巻 本郷秀雄 9・45 三つの声 中島健蔵 10・45 名作アルバム	7・30 三枝登と楽団 8・25 おしやべりレデイ 楠トシエ 9・15 独唱 小野田衛子 9・30 青春のあるところ 10・10 北原武夫作 聖歌族❷ 10・25 妻の問題 大浜英子 11・35 東京の人 夏川静江	8・00 サザエさん 市川すみれ 9・00 お笑い一家 汐見洋 納富久美子ほか 10・00 やりくりチヨ子さん 左幸子 増田順二ほか 11・00 放送劇 悦ちやん 芥川比呂志
昼	0・30 ❶漫才 直井オサム・大沢ミツル❷落語 円馬 1・05 婦人の時間❶ブラジル移民をめぐつて❷レコード❸粉ミルク事件 2・05 長唄 鷺娘 富士田楓江 杵屋佐吉ほか 2・30 宮田ハーモニカ楽団 指揮 宮田東峰 4・15 九州放送管弦楽団	0・30 鈴木章治とリズム・エース チヤーリ石黒と東京パンチヨス 1・15 交響曲の時間 シヨスタコヴツチ作曲ピアノ協奏曲ほか 3・00 マンボーとカワハギ 4・00 リズムアワー テイピカBK指揮 田中政数 5・00 ジユピター・トリオ	0・15 中村八大とモダンクアルテツト ナンシー梅木 0・30 落語 さらや 円歌 1・30 婦人の窓 鈴木清 2・05 映画 日本映画 飯田心美 3・40 横光利一作 青春 ❶ 4・05 長唄 四季の山姥 杵屋六左衛門 六七郎 5・30 父をたねずて一万キロ	0・00 柳亭痴楽お笑い大学 人形漫談 成見ひさし 並木道子 山中豊子ほか 1・00 守田勘弥 人物論 1・15 漫談 笑話の子供 牧野周一 2・00 婦人の時間 2・30 若手演芸家の時間 3・00 東京マンボ オーケストラ	0・00 浪曲花形十八番集 1・00 劇 えくぼ横丁❺小見満里子ほか 1・35 和田弘とマヒナ・スターズ 1・30 女神 斎藤博 2・30 アメリカ文学 ロアリング部落のフクちやん 4・00 君美しく 杉田郁子 4・35 LPコンサート
晩	6・00 ジヤンバルジヤン物語 6・25 オテナの塔 7・30 歌の展覧会❶NHK新しい歌 藤山一郎❷朗読と音楽❸あの歌この歌❹音楽劇 河野ヨシユキほか 8・00 浪曲 影 鹿島秀月 8・40 日本の町 静岡県富士市 地元連中 9・15 劇 金子洋文作 二十八日金曜日 御橋公ほか 10・40 ガーシユイン集 NHKポツプス・オーケストラ 指揮 飯田三郎 1・20 随筆	6・40 この頃の科学ニユースから 井上栄一 7・00 名曲鑑賞 フイガロの結婚 ロンドン交響楽団 7・30 歴史の窓から 黒い民族 ネグロ解放運動史 国会図書館 西野照太郎 8・05 座談会 ノイローゼをめぐつて 安井修平ほか 9・00 NHKリサイタル ピアノ独奏 永井進❶シヨパン作マズルカ集❷イベール作 物語❸スクリヤービン作 左手のためのノクターン	6・25 私が買いましよう 司会 増井春雄 7・20 唄ごよみ 市丸 7・30 エンゼル・タイム 有島一郎 華声 川田孝子 8・00 おはこ大学 突破 近藤圭子 伴久美子 古賀さと子 楽団ラジオ・ジヨーカーズ 9・10 東京キユーバン・ボーイズ 9・30 リレー・ドラマ ガラスの青春 芥川比呂志 10・15 唄の四季 金子千恵子 11・10 海の散歩 檜山義夫	6・00 少年宮本武蔵 中村賀津雄 永井智雄ほか 6・10 すずらん太郎 高橋昌也 7・10 新童謡歳時記 サトウ・ハチロー 7・30 東京キユーバンボーイズ 8・00 歌謡学校 藤村一平 一色皓一郎 8・30 のど自慢二つの歌 阿里道子ほか 9・00 テイチク・アワー 9・30 寄席のひととき 11・00 現代劇場 復讐	6・00 ポツポちやん 消しこの夜 劇団 東芸 6・15 少年探偵団 6・30 夫婦善哉 蝶々 雄二 7・30 民謡のど自慢 8・00 東西お笑い他流試合 桂右女助 森光子 8・20 ミスターWとミスM子❶洗かほる 堺駿二 9・00 浪曲玉手箱 女の暦❶清く円らに 天津羽衣 9・30 私のヒツト・ソング コロムビア・ローズ 野沢一馬 菊池章子 10・00 南無三宝

…世渡り術もイロイロとあるもんですナァ。

"フォン女給の奥の手"新橋の話題を一つ。駅前のビルにNというキャバレーがある。ところがここで飲むとビールなら一本五百円ということになる。近ごろのように不景気になって新生活運動など騒がれるようになると、社用でも行けず、自パラではなおさら五百円のビールはのめない。そこで近所の酒蔵や焼鳥でイッパイいれてからということになるが、さいきん同じビルにあるEという中華料理を利用するのが現れた。ここだとビール百五十円であがる。そこの女の子に同じビルのよしみで、キャバレーのだれそれに電話をかけさせるとやって来る。（但しなじみがいないとダメ）気分はよし値は安し、サシで二—三本やってから五百円のところへお直り—という寸法である。セチ辛くなると悪知恵? がはたらくもんデス。

二人づれにうってつけの新橋トリスバー

純喫茶にとって代って、近頃アベックが好んで利用するのがバーである。

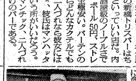
しかし、バーにもピンからキリ迄、うっかり入ると目の玉の飛び出そうな銀座の船来酒バーから、大衆に親しめるトリスバーまでその種類もなかなか多い。まして、二人で入って何の気兼ねなくほほを寄せ合えるバーなどそうたくさんはないだろう。

ところが、新橋は西口、場外馬券売場ウラの新橋トリスバーはちょっと出色といっていい店だ。内部は船来居酒屋級のノーブルさで値段はハイボール50円、ストレート40円と至極安い。バーテンの腕がいいからどんなカクテルでもOKだが、二人づれなら彼女にはピンクレディ、彼氏はマンハッタンかハイという所がいいだろう。近代的でロマンチック、二人づれにうってつけのバーである。

ロマンスを呼ぶ喫茶ホール

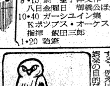
百二十円で一日踊れる両国の『東宝』

東京にもようやく秋風が立ち始めた。特に夕暮れの涼風はときに肌寒さを感じさせるほどだ。二人連れ立って街を歩けば、何となくロマンチックな気分になるのもこの季節。喫茶店で一杯の珈琲に時間をつぶすにしては、あまりにも話したいことが多過ぎようし、ふとハズム心を知っても踊るわけには行かぬ。といってキャバレーではとても愛人は承知しまい。ナイトクラブではちとフトコロが心細い。どこかゆっくり語り合って、しかも踊ってもいい、というような喫茶室はないだろうか。こうした思いにつられて東京の街を銀座から日本橋、神田から上野へと歩いてみても思う店はあるわけがない。こんなとき思い出して頂きたいのが総武線両国駅前『東宝』だ。喫茶ホールと呼ぶべきか。百二十円の入場料にお茶券がつき、何時間でも自由に踊れる。バンドは流楽団。二人で行くのがいいが、何なら一人で行って向うでパートナーをみつけるという手もある。ホールの広さはザット百坪、東京一の喫茶ホールといっていい。



"麻雀と暇寝の宿"

渋谷の『風久呂』の利用法



日本で旅館といえば大体旅行者が利用する一時の宿か、でなければ二人がシンミリする所と相場が決っている。しかし、アメリカ人などはホテルをもっと気軽く利用する。例えば食事とか、入浴とか娯楽の目的だけで……。

日本にもソロソロこうした利用のしかたをする人種が現われたが、その最たるものは麻雀族。クラブでガヤガヤやるのはそうでなくてもウルサイ遊びだ。出来たら旅館で一室借りて、風呂に入ってゆっくり遊ぶといい。宿によっては麻雀の一組や二組揃っている旅館があるのだ。

例えば渋谷道玄坂から百軒店の入口を左に曲った所にある『風久呂』という宿はこんな麻雀族にうってつけだ。二人で一泊千円、休憩五百円。マスター、マダムも麻雀好きで人が足りなければ加ってもくれよう。

歌右衛門丈の趣味生きる　田町歌茶屋

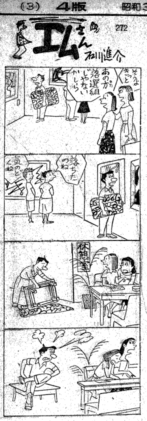
歌舞伎の中村歌右衛門丈といえば、あながちファンでなくても名前ぐらいは知っていよう。みずみずしい女形を演じて日本一と声のかかる天下の名優だ。その歌右衛門丈が趣味のほとぼしるまま擬りに擬って作った宿といえば、それだけでも粋の極致、さぞかしみごとな物だろうと誰でも思うに違いない。想像にたがわず、行ってみてなおびっくり。これが田町九丁目電停前の旅館「歌茶屋」である。深山幽谷を模した庭の造りもみごとなら、せせらぎの音も涼しく渓流に掛かる橋を渡れば独立離れ屋。その名も熱川、初島、熱海、天城、江之島など天下の名所旧跡の名を配して、玄関には玉砂利、格子戸つきという立派なものだ。まさに"東京の箱根"といっていい過ぎでない雰囲気だから、時間を節約してここに一泊、ゆっくり二人きりになるという手もある。二人で休憩一室四百円から。泊り八百円から。広い風呂はいつも湧いているし、場所は銀座から七分という近い所にしては思いのほか静か。電話（45）二五四八番。

50匁のとんかつ100円

何でも安い新宿「富士屋」

新宿三光町の電停前に『富士屋』という大衆的なレストランがある。呼び物は"びっくりとんかつ"というやつ。50匁もある豚肉を使ってタッタ百円というから成程びっくりだ。

たいがいの店なら大きくて30匁ぐらい。百円のとんかつならどんなに気張っても35匁が精一杯だろう。安いといえばこの店、ビール大百二十五円、生の大百二十円と何でも安い。だからいつも満員の繁昌ぶり。近頃は新宿へ出たアベックが帰りの食事をここのとんかつでというのが多い。味はさすがベテランコック、タレ、揚げ具合い正に逸品である。



地方税法の改正めぐり ネオン街は大騒動

体刑を伴う厳罰主義 官給領収書は"改悪"

遊飲税の不合理叫んで 全国的反対運動展開

さきの国会で可決された遊興飲食税の改正案は十一月一日から実施されることになったが、同案は官給領収書の厳守などが規定され、とくにバー、キャバレー方面に大きく響くものだけに、各地で反対運動が起っていたが、昨三十一日午後京橋公会堂で全国観光社交事業連盟（理事長加藤幸三郎氏）では『官給領収書反対全国業者大会』をひらいて猛反対を叫び、このネオン街騒動はついに全国的な問題として燃え上った。業者側は『死活問題だ』ときわめて強硬であり、同案通過の経緯についても不明朗なものがあったといわれ、また官給領収書発行も実施面に不合理な点もある模様なので反対運動のなりゆきが注目されている。

キャバレー、カフェー業者の全国団体である全国観光社交事業連盟は三十一日午後一時から京橋公会堂に各地代表、東京地区の従業員も参加、約五千人が出席して遊飲税改正にともなう官給領収書反対など紅い気えんをあげ、終って『食物と女のウラミは七生までたたるぞ』『いやだったらいやだ』などのプラカードを掲げて女給さんら百名が自治庁に川島長官を訪問、絶対反対の決議文を手渡した。


京橋公会堂の反対全国大会

お役人の机上プラン

反対全国大会に反映された業者たちのいい分は

△キャバレーなどの遊飲税は従来法定二割で実際には一割程度だったのに、こんどは一割五分にハネ上り、官給領収書で完全徴収されては廃業以外にない。

△官給領収書発行を怠ったら懲役一年または二十万円以下の罰金という規定は、とかく徴収しにくく、納めにくい遊飲税の性格からしてひどすぎる。

△領収書は一連番号で、書き間違っても違反として罰されるのはカコクだ。

△女給さんが二、三百人もいる店で閉店時間に四、五百人の客がいっぺんに帰るのに、繁雑な官給領収書の発行はとてもできない。普通飲食店が五百円以下は不用と比べ不公平すぎる。

△客の送迎のタクシー代、タバコ代、売掛金、女給さんのチップにまで一割五分の税金をとられるのは不合理だ。

などの諸点である。このほか業者代表の主張としては、こんどの改正案により普通飲食店の免税点が百五十円に引上げられ（来年四月から二百円）芸者の花代の課税十割から三割と大幅に引下げられたことによる約七十億の財源の穴埋めを、ネオン街業者にシワ寄せした改悪で、その裏には一部議員らの不明朗な動きもあったという。

また、同じ大衆的な酒場でもサービス女中がいるのといない店では税金が大きく開くことになるが、その場合の区別がまちまちの現状で税の改正よりも業態整備を先決にしないのは不公正だとしている。ともあれ、こんどの改正案は、いわゆる大衆向には有利に、高級向には不利になった形だが、小さな店の場合『大衆』『高級』の区別も実際的に難かしい点もあるようで、これまで"適当な線"で納めてきた遊飲税が、官給領収書制度で、一銭でも誤りなくビシビシ徴収されることとなるため、デフレにあえぐネオン街にとっては大痛手に違いなく、死活問題とする業者側の反対運動は今後なお相当ねばり強く続けられるものとみられる。

小松元中将らBC級22名

米国務省 戦犯釈放を発表

【ワシントン三十一日発ロイター＝共同】米国務省は三十一日米国関係の日本人戦犯二十二名の仮釈放を発表した。同発表はつぎのように述べている。

米戦犯審査委員会は目下服役中の米国関係の戦犯二十二名の仮釈放を承認した。

米国務省は三十一日、巣鴨にいるアメリカ関係BC級戦犯二十二名を仮釈放（十二日―二十四日）すると発表したがこのなかには元海軍中将、元侯爵小松輝久氏もふくまれており、うち十二名が終身刑となっている。法務省調べによる二十二名の刑期、出身地などつぎのとおり。（戦犯名簿記載による）

△末国（スエ・タダシ）(三四)＝元陸軍曹長（終身刑）大分県△日高重美(三六)＝元陸軍中尉（終身刑）西宮市△山本金吾(三五)＝元陸軍上等兵（終身刑）中津市△山口敏生(三七)＝元陸軍上等兵（終身刑）大分市△池田金芳(三三)＝元陸軍准尉（二十年）福岡市△浜本次郎(三六)＝元陸軍憲兵准尉（十五年）米子市△酒井誠二郎(三八)＝元陸軍憲兵准尉（終身刑）山口県△小松輝久(六四)＝元海軍中将（十五年）渋谷区常磐松町一〇二△米丸正熊(五五)＝元陸軍大佐（二十五年）鹿児島市△七野忍(三七)＝元陸軍衛生曹長（二十五年）金沢市△結城忠作(三五)＝元陸軍軍曹（終身刑）山… 石黒寛(四三)＝元陸軍少佐（終身刑）愛知県△河盛周次(四…)＝元陸軍憲兵中尉（終身刑）堺市△中田善秋(三五)＝元軍属（三十年）倉敷市△中林清信(四四)＝元陸軍少佐（終身刑）富山県△金子多喜夫(三〇)＝元陸軍大尉（三十八年）萩市△田中光次(四八)＝元陸軍少佐（終身刑）佐… 新町六九

◇以下五名は減刑後仮釈… 山（イサヤマ）春樹(四八)＝元陸軍中将（終身刑）世田谷区…町五六四△青木正一郎… 間人（三十年）京都市△… 吉(三七)＝元陸軍少佐（終… 石川県△山内国光(三三)… （三十三年）福岡県△長… (三二)＝元陸軍伍長（四十… 崎県

超大作千号ズラリ

上野に三美術展開幕

○…二科、院展、行動美術など秋の美術展が一日から上野美術館で賑やかに幕をあけた。二科はことしで四十回、派手な前夜祭などで鳴物入りの開幕だったが、雨にたたられて例年より客の出足はニブかった。

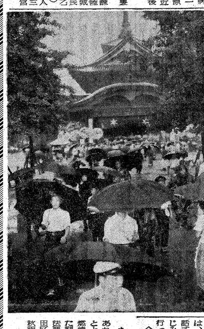
○…それでもことしは大作ぞろいで、中でも金原昌平氏の二千号の超力作をはじめ五百号、千号がザラとあって、その大きさに客はまずドギモを抜かれた形『こんなに大きいばかりでは…』と批判の声もチラホラあった。


【写真は二科展の初日】

洋傘で眼を刺し、殺す

工員の喧嘩、傍から加勢

三十一日午後六時ごろ大田区調布一の一三一六工員郷… とは品川区荏原二の二八四… 前路上で同町一の四五四工… たに洋傘で右目をつかれ付… 院に収容されたが傷が深い… 日午前四時半ごろ死亡した… 署の調べによると郷君は現… の三共電機の工員で三十一… [illegible]



三千人を身辺調査

吉田さん殺し捜査本部解散

去る五月一日朝新宿区番衆町三六吉川満寿さん方の夜の女、吉田ふじ子さん(二七)が絞殺された事件を追及していた四谷署捜査本部では犯人未検挙のまま八月三十一日でひとまず解散、以後警視庁捜一課須藤主任の班が捜査を続けることになった。同本部では、昨年三月十五日同区三光町一津島功さん方の夜の女本田いさみさん＝当時(二四)が絞殺された事件も未解決で両事件とも手口が似ており、現場状況も全く一致している点から同一犯人による連続殺人事件ではないかとみて、事件発生以来四ヵ月にわたり馴染客やポン引、土地の不良など約三千人の身辺捜査を行ってきたがいずれも決め手が得られなかったもので、これで新宿区内の二つの夜の女殺しは迷宮入りとなった。

ふし穴 マダムとおでん屋

◇秋風立ちビールからお酒への切り替えシーズンがまたやってきた。ノレンをくぐりおでんでチビリチビリやる季節も遠くはない。そのおでん屋といえばすぐ屋台を思い出す。不衛生で交通の妨害にもなるところから当局ではなるべく屋台をふやさず申請があっても不許可方針でやってきたが、この秋からは衛生的なものに限って許すことになり、いま申請が門前市をなしている。デフレの深刻は簡単なおでん屋開業へとこんなところへシワ寄せがきているのかも知れないが、これら申請者の中には三十から四十代のいわゆるマダムと呼ばれる年代層が多く、その中には戦争犠牲者で子供を抱えた未亡人も少くない。三十ムスメとか四十未亡人とアッサリ呼ぶが、遠く戦争が原因した彼女らの苦闘を偲んでやりたい。

◇『九月一日震災記念のきょうを期して爾今禁酒を断然声明す…』こうした文句をつづって友人間にまわす酒のみの反省はどこの会社にも多い。だがこういうお方に限って蛙ではないがケロリその晩になると禁酒の断もどこへやらチクリ一杯ということに相成る。好きな酒だからフトコロが許す範囲で仕方がないと思うが、勿体づけて禁酒宣言まではやらず、せめて節酒の線を常に考慮に入れてもらいたい。もっとも世界各国でさえこれまで禁酒法だなんて騒いだがみな失敗している。これなど個人の禁酒声明によく似ているが、それでも節酒を励行しているスエーデン、ノルウェイ、デンマーク、ベルギー、フィンランドの諸国はある程度成功している。殊にスエーデンの如きは十九世紀の初めごろからイワン・ブラット博士によるいわゆるブラット式節酒法を施行し成功してきた。（ブラット式とは、家庭用、個人売り、キャバレー、料理店の三種を決め一定量に限り許す）わが国も戦後十年、酒も大いに出回り、眼のつぶれるカストリも影をひそめたが、反面こうした節酒法も雨のしょぼ降るきょう、九月一日の震災記念日を期して考えたらどんなもんじゃろう。（青）

脅して踏倒し

板橋に自動車強盗

一日午前五時二十分頃板橋区板橋五の一〇二八先で荒川区日暮里二の三〇交友相互タクシー運転手古… [illegible] …致死容疑で指名手配した。

一線記者のポリス・ボックス・リレー

⑤上野公園前

家出娘の終着駅

転落寸前の"救い主"



[illegible] …たときポケットの手帳には月曜文京区のKオジサン、火曜床屋のSちゃん」て一週間の夜のお相手が列記してあり、彼女は「私はパン助ではない、ただ一人の人だけでは物足りないの、だからお友達をいろいろ変えて遊んでるだけよ」と洋モクをスパスパ、さすがものなれた巡査長も『ウーン』とうなったきり、このアプレ娘の顔をしばしながめていた。

○…三多摩で大学生に処女を捧げたF子さん(一八)が捨てられて家出し上野公園をフラフラしていると、通りかかったG氏(三〇)H子(三〇)がこれが「一人歩きはいけない、職も世話するから家においで」と親切にいたわってくれ、ついていったのが六畳一間のアパート一間。一夜、二十六才の子供をつれた夫婦での蜜の如き夫婦の営みにどうやらすぎたが、すぐたまらない。一週間目にはガマンできなくなってとび出して保護されたが、深夜の立番でウトウトしていたお巡りさんも木製ベンチにこんなに見せつけられちゃ、知らないわけじゃないがねむけがさめてしまった。（江）

きょう震災記念

…から三十二年―。一瞬の轟音とともに多くの建物を崩壊させ、五万八千人の遭難者を出した関東大震災。その三十三回忌の法要がきょう一日午前十時から墨田区横網町の都慰霊堂で行われ、雨けむる中を多数の参拝人がつめかけ、堂内は次々に重ねて行く初秋の献花に埋っていった。【写真は震災慰霊祭風景】

きょうから神戸へ即時通話が完成！

…一日から東京、神戸間の市外電話が即時通話となったので、午前十一時から電々公社で大手町の市外電話局で記念通話を関係者およびラジオでおなじみの中村メイコさんが出席して… 東京からメイコさんが受話器をとれば、神戸ではミス神戸の浜口さんが受話器をとり第一声の交換が行われた。東京、神戸間はこれで一〇三番に申込み相手が話し中でなければすぐつながるようになった。


【写真はミス神戸と話すメイコさん】

再公告申請へ

砂川町の測量、労相指示

西田労相は一日午前十一時福島調達庁長官を労働省に招き砂川町基地測量問題について都知事に再公告を申請することを指示した。申請の時期は福島長官が都知事と会った上決定するが二日午前九時までには申請することになった。

脳炎六百名に迫る

一日朝都衛生局に入った報告によると八月三十一日に判明した日本脳炎患者は板橋区板橋一〇の二五一九会社員山野辺利治さん次男一男ちゃん(三)が真性と決定したのをはじめ真性一名擬似二十六名。これでことしの患者総数は真性三百八十一名（死亡百十九名）擬似二百十三名（死亡十名）計五百九十四名（死亡百二十九名）となった。

井ノ頭に女の投身死体

一日午前六時二十分ごろ三鷹市井ノ頭公園井天池に二十才前後五尺ぐらい、薄色半袖ブラウス、更紗模様のスカートに薄紫色の雨靴をはいた、一見事務員風の女が死んでいるのを通行中の武蔵野市吉祥寺二〇七三無職本田成夫さん(五五)が発見、三鷹署に届出た。同署で調べているが、薬物を飲んだのち投身自殺したものらしく遺書もなく所持品は女物洋傘とアメ色メガネだけで身許不明。

ボンベ爆発工員死亡

一日朝八時半ごろ荒川区尾久町九の三五五一ヘルス自動車工場内のボンベが爆発。作業中の整備工岡田岩五郎さん(三二)は重傷を負って付近の病院に収容されたが、間もなく死亡。尾久署で原因を調べている。

松下電器工場焼く

【大阪発】一日午前五時十分ごろ大阪府北河内郡門真町松下電器産業株式会社（社長松下幸之助氏）通信器工場の物品作業場付近から出火、瓦ぶき平屋建の同工場一むね約四百坪を全焼、同六時過ぎ鎮火した。原因は漏電と見られる。損害約三千万円。

大宮 競輪二日目 成績 第一B（千五百）❶神尾啓2分8秒2❷中島林2分1輪❸小平公（単）150円（複）100円120円140円（連）❸—❶610円 第二B（千五百）❶吉沢秀2分12秒8❷南幸夫1車4分1❸早川泰（単）100円（複）100円120円150円（連）❹—❷530円

あすのスポーツ ▽野球 全国炭鉱（十一時、後楽園）▽バレーボール 天皇杯男子総合（十一時半東京体育館）▽ボクシング チャンピオン・スカウト（六時四十分東京スケート）▽競馬 大井

独眼灯

○…ぬれねずになった男が三十一日夜九時半ごろ熱海駅前交番に「雨が命の恩人になりました…」と救いを求めてきた。

○…熱海署の調べによると熊本県阿蘇郡南小国村万願寺伊藤勝記君(二二)といい、坊さんの息子でこの世がいやになり、二十六日夜八時ごろ熱海市桃山台の山中で多量の睡眠薬を飲み自殺をはかった。

○…生死の間をさまようこと四日間、きのうの豪雨に打たれ、意識がよみがえり急にあの世行がおそろしくなったという。なお同君は最近まで練馬区石神井二の一三一六中間兵次郎さん方に身を寄せていた。

続 情炎の千代田城

岩崎栄 作　寺本忠雄 画　（226）

【あらすじ】六代徳川家宣の時代になっても、千代田城内の確執はやまない。世継ぎをめぐって正妻、側室が対立し幕閣の諸大名がこれに連らなっているからうるさい◆勘定奉行荻原重秀は権門柳沢吉保と組んで、将軍を退下せしめようと京都へ訴願の密書を送った。この密書を携えたのが荻原邸の妖婦お梨花である。これを知った新井白石、木人先生、八百定侍一家とお静、途中これを奪おうとお静が待伏せたが逆に捕われ海へ流された。だがよく助かり、再び男装して密書を尋ねて西へ東へ――

荒浪や（六）

『おっととと――あぶねえことをする』

おかしい言葉づかいをする。浪人にしては声が明るいし、調子も変っている。

『黙れッ』

一喝して更に斬り込む。ヒラリとかわす。

『うぬッ』

と踏み込む。

『どっこい』

と逃げる。ナマイキにまだ腰のものは抜いていない。怪しからぬやつだ。お静はすこしムカついて来た。長ドスの切っ先を左斜に地面に向けて、

『おとなしく路銀を置いてまいれ』

ちょっと凄んでみせたが、とんと効き目がない。闇に白い歯を見せた。アザ笑ったのだ。

カァッとなって、いきなり左下から、猛然と払いあげた。

『くたばれッ』

『うわァァ――やられたッ。まいった！　くたばるよ。あばよっと』

よろよろっとなって、石ころ道から草の生えている方に駈け出し、

『ここいらが柔かくていいや。さらば！』

ドタリ――と大の字なりに引っくり返った。

『ウソをつけッ』

お静は思わず吹き出してしまった。妙な浪人もいるものだ。もはやこれでは商売にもならず、喧嘩にもならない。あきれ返った気持で、パチン！　と刀を鞘におさめた。

『はははは、あっはははは』

草の上から、傍若無人に笑い出し、

『姉さんよ、会えてよかったなァ』

といって、ムックリ立ち上がった。

『あ？』

千代太郎の声だった。

『おまえは……』

駈け寄ると、

『姉さん！』

抱きついて来た。

『千代ちゃん！　まァ……』

うっと、涙が胸を破るばかりこみ上げて来る。

『姉さんは――斬取り強盗を稼いでるのかい。そんなにまで零落してしまっているのか』

千代太郎の声も、すこしばかり潤んで来た。それを押しはなして、お静は草の上に座り込んだ。涙を拭いて、ホッとして、泣いた眼に微笑をうかべて、

『千代ちゃんもお座りよ、ここへ』

『うん。だけど、どうしていたの、その後』

『いろいろとねえ』

『小田原城に、つれ込まれたまではね、岩テコの報告でわかったんだけど、それからどうなったのかって、おやじも、おふくろも、ひどく心配しているんだよ』

『木人先生は』

『先生が易をたててみたんだよ』

『当るもんか、あの先生の易なぞ』

『いや、そうでねえんだ。いくらか当ってたよ、ね、いまとなって見りゃァ。先生はね、十中の八、九分までは、どうにか生きているだろうってんだ』

『そんなの、易でも八卦でもありゃしないじゃないか』

『まァいいや、とにかく生きてたんだから有難いや。だけど、どんなふうだったのだい、小田原の城ん中で』

『大変だったの。いずれゆっくり話しするよ。一朝一夕のことに非ず。ハハハハ』

『そうだろうなァ』

『それよりも、おまえさんは？　どういうことなの、いまごろ、こんなところで、そうしたいでたちってのは？』



近代劇場公演　沙翁劇専門の第十五回公演は『リヤ王』五幕十六場をとりあげ、国民劇場運営委後援で十月十三日から十九日まで、毎夕六時（土、日マチネー二時）で神田一ツ橋講堂で行われる。訳坪内逍遥、演出加藤長治、装置遠山静雄、音楽津川主一。

どっと出る 人気者主題歌

レコード九月新譜

河内山や巴御前 入り乱れての大賑い

"お富さん"ブームの夢つづく？

このところレコード界は企画の貧困に悩んでいるが、各社九月新譜をみると歴史上の人物或いは知られた人気ものを題材にしているという一つの傾向が見られる。[illegible]

まず日本マーキュリーでは東海林太郎の歌で高木東六作詞、[illegible]夫作曲の『木曽義仲の唄』『[illegible]の唄』をワン・ダブルで出る。これは先月NHK連続[illegible]『源義経』の主題歌として[illegible]三作詞、飯田景応作曲の『静唄』（東海林太郎）『静[illegible]』（丸山美智子）を発売した[illegible]想外に好評だったため、引[illegible]画されたものといわれる。ビクターからは八月のトッ[illegible]

[illegible]入りという凝ったものだ。テイチクには田中千恵子作詞、倉若晴生作曲の『河内山』（白根一男）と『直次郎はん』（鈴木三重子）があり、キングには横井弘作詞、中野忠晴作曲の『ああ新撰組』（三橋美智也歌）と横井作詞、細川潤一作曲の『幾松小唄』（照菊歌）があるといった案配で、各社の企画が偶然ぶつかったのか、それからそれへと[illegible]ったのか、とにかく八月、九月の歌謡曲は石松、河内山、鼠小僧、巴御前、木曽義仲、芸妓幾松などが入り乱れての大賑わいである。


東海林太郎


野崎せい子


三浦洸一


神楽坂浮子


中島孝


神楽坂はん子


白根一男


照菊



映画やぶにらみ

多彩なわりに物足らぬ

遠い雲（松竹）

▽…幾年忘れ得ぬ初恋の人（高峰秀子）は、放蕩者だった夫に先立たれ今は一子を抱えた未亡人になっている。北海道へ転勤するため故郷へ帰って来た青年（田村高広）の胸には再びかつての激しい情熱がよみがえる。ところが未亡人とはいえ町一番の裕福な婚家で落着いた毎日を送っている彼女には"女の幸福"を願う心はあっても、とにかく生活の平安をかき乱されたくないという気持はぬぐえない。そうした二人の数日間の交渉を描いた木下恵介、松山善三の脚本。演出は木下恵介。

▽…初恋という清純な思い出も、長い年月を経た女心には青年の考えるような甘い面影を宿してはいない。いわばそういうコントラスト、女のエゴイズムといったものをついているわけだがこれは余りきいていないようだ。というのもやはり青年が豪商の息子で何一つ生活の不安もない恵まれた環境にあるところから、彼の行動がすべて恵まれているものの善意、裏をかえせば一種の我儘ともなりかねない影を宿しているからであろう。田村の演技もこういった点ふっきれていない。

▽…同じ恵まれた環境にある男の善意とはいえ、未亡人の義弟（佐田啓二）が彼女に抱くひそかな愛情は大変自然で、かつみるものの共感を呼ぶ。女の悲しみを本当に知る者のみの愛情といったものが、佐田の好演もあって実によくにじみ出ている。総体に登場人物が多彩なわりに物語自体の起伏にも乏しいところから、どうにも歯ごたえのない感じをまぬがれないが、同じ未亡人に少年のころと変らぬ思慕を抱く駅弁売り（田浦正巳）の姿などに、むしろ木下作品らしいキラッとした輝きを見出せるようだ。飛騨高山のロケーションが美しい詩情を添えている。（静）


【写真はその一場面、高峰と田村】

東横ホール九月興行　勘弥、田之助、我童、段四郎などの合同歌舞伎で四日初日、出し物は第一部『弁慶上使』一幕近松門左衛門作『心中天網島・紙治』一幕『雨の五郎』『大原女』『国入奴』河竹黙阿弥『魚屋宗五郎』三幕、夜の部『菊畑』一幕、大森痴雪作『樽屋おせん』二幕、河竹黙阿弥作『連獅子』岡本綺堂作『鳥辺山心中』一幕二場、主な配役は勘弥（治兵衛、宗五郎）田之助（長右衛門）我童（おさん、小春、おなぎ、おせん）段四郎（伊助、右近）福助（弁慶）八百蔵（五郎、知恵内）半四郎（大原女、虎蔵、半九郎）松蔦（おはま、皆鶴姫、お染）

浅草宝塚劇場　では九月六日から十一日まで伊藤久男、鶴田六郎、楠トシエ、神楽坂玉枝、東郷たまみ、コロムビア・トップ、ライトが出演、歌のアトラクションを上演する。

姿を消す公園劇場

年内に、松竹映画劇場の拡張で

ストリップから女剣劇に転向してのところ好調ぶりを示している浅草公園劇場が、松竹映画劇場の拡張のため犠牲となって姿を消すことになった。同劇場は戦後松竹から東京興行に貸してテアトル東京という名で映画を上映していたが、昭和二十六年十二月松竹の手に戻され、実演劇部の直営でストリップ、寄席、女剣劇などを上演、数少なくなった浅草の実演劇場の一つとして気を吐いて来たものだが、こんど浅草松竹映画劇場を定員千四百名から二千名にふやすため、現在の公園劇場の舞台の位置にまでスクリーンを下げることになり、公園劇場の閉鎖がきまったもの。

松竹演劇部では『急に決ったのでまだ期日の点でハッキリしていない。もしも松映の正月興行に間に合うようだったら、年内に手を着けることになるかもしれない。九月は大江美智子が決っているし、十月もおそらくそのまま続演の予定だから、やればその後になるだろう。松映が拡張したあとは、国際通りに面した方には小さい劇場ができることと思うが、これは小さくて実演には向かないだろう。ニュース劇場にでもなるのではないか』といっている。


【写真は公園劇場】

ほと笛

▽…カメラ熱は歌舞伎界でもお盛んだ。先日たそがれごろ、市川高麗蔵が愛用のカメラ片手に新橋付近を歩いていると、助高屋高助が横丁で立ち小便をしている珍景にぶつかった。絶好のチャンスとカメラを向けていると、気がついた高助、ふり向いてギョッ。

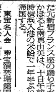
▽…そこをすかさずパチリとやったのを現像したら、これがなかなかの芸術写真。すっかり喜んだ高麗蔵『引きのばそうかな』といえば高助『自分が小さいときはオシッコの世話まで俺にさせたくせに怪しからん』と大ムクレ。


【写真は助高屋高助】



都々逸

小沢扇太郎選



すだれ越しからきまりが悪い　濡れ場へ差し込む海の月　銀座・まる信

弱い気持がひとりでさせる　川に投げ込む石つぶて　練馬・飯田光泉

判らない女心と星から月へ　猫の目のよな秋の空　足立・志のぶ

これもさだめかおんなじ空の　下で泣く人笑う人　文京・木村いつ秋

縁があるのよ今夜もこゝで　ぱったり出逢った石だたみ　木場・猿谷三十越

◇

やっと暑さの峠も越して　互いに枕をよせる秋　選者

水町かほるら近く帰国　ハワイのナイト・クラブからロスアンゼルスのクラブに招かれて踊っていた元新宿フランス座の踊り子水町かほると南真由美は、十日午前七時横浜入港の米船で一年半ぶりで帰国する。

東宝名人会　東宝演芸場第四回東宝名人会（九月一日―十日）の出演者は次ぎの通り。円右、百生、枝太郎、石田一松、柳好、都上英二・東喜美江、円歌、小[illegible]、千穂康江、藤間勢鳳。

転居　灰田勝彦（ビクター歌手）は九月九日左記へ転居する。目黒区上目黒五の二六五八の八六、電（46）五四一三番

ガ！チャンス到来

⑧

中川弘子（松竹）

すしと踊りと歌が好き

音楽一家の恵まれっ子

舌が満足に回らないうちから舞台に立ったせいでもなかろうが、少々お上品な言葉をあやつるとラ行があやしくなってくる。案外これがご愛嬌になっているのは満ざら丸いベビー・フェイスの功績ばかりではない。彼女には変テコリンな少女の我儘さと、人なつっこい甘さが体臭になってにじんでいるからだ。

『映画に熱中するなら歌や踊りは忘れなければいけないといわれるけど、そう簡単にハイといってやめられるものじゃないわよ、ネー。だってアタシの好きなのは野菜サラダにお寿司に踊りと歌なんだもの』と無邪気に笑う。そのほっぺたに八ドル五十セントくらいのエクボがペコリ。なるほど彼女のお父さん（パパとはいわないのである）がタップの中川三郎で弟はアコーディオンの一郎、妹の姿子はマリンバで元子はドラム、おまけにお母さんは元タンゴ歌手といった文字通り『陽気な音楽一家』では彼女がお寿司の次ぎに歌が好きでも無理はない。

映画入り早々その彼女にすごく幸運が回ってきた。木下恵介監督の本年度第一回作『遠い雲』で田村高広の妹役だ。大体妹とか弟役なんてものは映画の世界ではおおむねもうけ役と相場がきまっている。主役の男女が離れたり泣いたりする間を飛び回って、文使いをやったりなぐさめたり、その上適当に笑わせたりもするものだ。だから人気もグンと上るという計算になる。まして先生が木下恵介ときては、彼女が売り出せなかったら木下学校の名折れというようなものだ。そこで彼女も真剣なのである。

『といってもキャメラの前に出れば夢中なのよ。木下先生はやさしいというけど仕事になるととってもこわいのよ。それにセリフにちょっと高山弁が入るのでそれをまともにいうだけでせいいっぱい。でもロケーションの十五日間は楽しかったわ。また早くお仕事にかかりたいと思っているところですの』ときた。つまりその『ところですの』という舌のヒッカカリが彼女をスターにするかどうかの"ヒッカカリ"になりそうなところなのである。　×　×







